

会員の皆様へお願い ～会費制導入について～

◇導入の経過・趣旨

本会は従前より新入生の入会金収入のみで運営されてきたため、活発な活動を行なうことができませんでした。百年の歴史にふさわしい活動ができる体制を確立していくためには会員の皆様から会費を納めていただき、同窓会の役割を果たしていくことが必要であると考えました。

平成 21 年度の総会において会費制導入について提案し、了承されました。但し時期については百周年の終了後に検討ということになりました。昨年度無事記念事業が終了し、平成 24 年度の総会において討議し、今年度より会費 1,000 円の納入が承認されました。

◇会費の使途

今までは新入生の入会金 5,000 円、年額約 120 万円運営していました。そのため、年 1 回の総会の費用（会場費、講演会経費等）、通信費、光熱水費のほかは卒業生への卒業証書ホルダー贈呈と全国大会出場クラブへの祝い金を送る程度となっています。

今後は次のような事業を行いたいと考えています。

①会報の発行

支部活動や学校の様子等を会員の皆様にお知らせします。

②支部活動の支援

会費の集金をしていただくことでさらなる会員同士の交流が図られると思います。

集金された会費の 2 割が支部へ還元されますので、活動の資金にしていきたいと思います。

③同窓会主催による独自の講演会などの開催

④クラブ活動の助成と教育活動の支援

母校では後輩たちが百年の伝統のもとで学習、クラブ、生徒会活動等に真剣に取り組んでいます。特に進学については着々と成果を上げています。また、クラブ活動も 95% の加入率で頑張っています。

同窓会としてもできる限りの支援をしたいと考えています。

◇納入の方法

○上伊那各支部

支部役員が訪問しますのでその際に納入してください。

○上記以外

同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。（手数料は同窓会負担）

※会費の納入は平成 25 年 3 月までをお願いします。

百周年記念事業会計残金について

百周年記念事業会計の残金 650 万円につきましては、当初同窓会基金として積み立てるということで報告させていただきましたが、関東信越国税局より免税の承認を受けていたため税率の関係から、残額を基金として積み立てるのは適当でなく、学校への追加寄付とするようにとの指導を受けまして、学校の教育活動支援に活用させていただくことになりました。

学校では県の財政が厳しく、予算が大幅に削減されているという現状です。是非この残金を有効活用していただき、教育活動がより活発に行われることを願います。

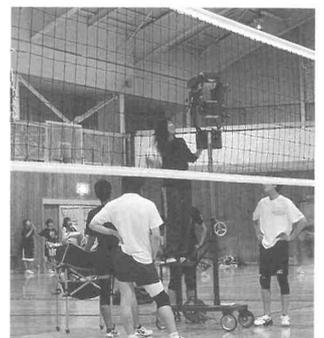
ご理解いただきますようお願いいたします。

◆追加寄付により購入した備品（今後の予定も含む）

ピッチングマシン
沐浴人形
グラウンドならし機
まな板・包丁殺菌保管庫
ミニサッカーゴール
サーバー
マンドセロ
ローラー
バスクラリネット

ジェットヒーター
電子ドラムセット
パイプ椅子 100 脚・運搬台
電光投影式視力検査器
ワイヤレスアンプ・マイクセット
耳鼻科検診器具一式
ポータブルステージ
トスサーブスパイクマシン
除雪機

ホストパソコン
薬品保管庫
B R 付大画面テレビ



バレー部で使用の
トスサーブスパイクマシン